

学習指導要領		都立東大和高校 学カスタンダード
<p>A 話 す こ と ・ 聞 く こ と</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>幅広く調べた内容を整理して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題などについて、調べたり取材したりした内容を基に、自分の考えをもつことができる。</li> <li>・論拠に基づき、反論を想定しながら自分の考えを話すことができる。</li> </ul> <p>目的や場に応じて、資料などを用いながら、分かりやすく適切な言葉で話したり、要点を押さえて聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告や発表などで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、必要に応じて資料などを用いながら言葉を選んで話すことができる。</li> <li>・報告や発表などで、要点を押さえながら、話し手の主張を聞き取ることができる。</li> </ul> <p>相手の立場を理解し、相手の考えを踏まえて自分の考えを説明し、司会者や提案者などの役割に応じて円滑に話し合うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ討議などで、相手と自分の考えの共通点や相違点をとらえ、相手の考えの根拠を理解し、自分の考えに生かすことができる。</li> <li>・司会者や提案者などの役割に応じて、話し合いが円滑に進むように、話の構成や展開、言葉遣いなどを考えて話すことができる。</li> </ul> <p>自己評価や相互評価を自分の話し方や言葉遣いに生かし、話し手の多様な思いや考えに気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表やディベート・スピーチなどで、言葉遣い・態度・論理の組み立てなど、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘しあい、お互いに向上していくことができる。</li> <li>・それぞれに込められた思いや考えに気付くことができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立東大和高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。 《具体的な設定例》 ・自分自身の体験や考えたこと、身の回りのことなどから目的に応じて題材を選び、材料を収集したり選択したりすることができる。 ・常体と敬体を相手や目的に応じて使い分けることができる。 ・複数の語句や言い回しの中から題材や文章の形態にふさわしいものを選択することができる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	論理の構成や展開の仕方について理解し、論拠に基づいて自分の考えを文章にすることができる。 《具体的な設定例》 ・「序論－本論－結論」、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の組み立て方や進め方を取り入れて、600～800字程度の文章を書くことができる。 ・反論を想定しながら、論拠に基づいて自分の考えをまとめることができる。
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	説明や描写を使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の仕方を書くことができる。 《具体的な設定例》 ・事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的に説明したりすることができる。 ・情景や人物、心情などを、表現技法などを用いて、読み手が想像しやすいように描写することができる。
	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	自他の文章への評価を通して、自分の表現に生かし、書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。 《具体的な設定例》 ・発想の豊かさや論の構成・展開の仕方など、良い点・直すべき点を指摘することができる。



学習指導要領	都立東大和高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>表現に即して読み取ることができる。 《具体的な設定例》</p> <p>古文 ・用言・助動詞、基本的な助詞・敬語、係り結び、和歌の修辞などを理解して、文章を読み取ることができる。</p> <p>漢文 ・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解して、文章を読み取ることができる。</p> <p><b>【現代文】</b> 登場人物の行動や性格、心情の変化、ものの見方、感じ方、考え方をとらえることができる。 情景描写から心情を読み取ることができる。 《具体的な設定例》 芥川龍之介『羅生門』や宮沢賢治『なめとこ山の熊』などで ・登場人物の言動や、心情とその変化を読み取り、説明できる。 ・比喩表現などから状況や心情をとらえて説明できる。</p> <p><b>【古典】</b> 量・難易度とも中程度の文章の場面や人物を押さえ、行動や心情を読み取ることができる。 《具体的な設定例》</p> <p>古文 『伊勢物語』『芥川』などで ・人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 ・和歌に込められた男の心情を理解する。</p> <p>漢文 杜甫「春望」などで ・描かれた人物、場面、時代や場所、状況、出来事、情景を読み取ることができる。 ・「白頭搔更短」のような間接的な表現に込められた作者の心情を理解する。</p>

学習指導要領		都立東大和高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果を指摘したり、書き手の主張や目的をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てを指摘したりすることができる。</li> <li>・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋をとらえて説明できる。</li> <li>・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法を説明できる。</li> <li>・書き手の主張や意図を読み取ることができる。</li> </ul>	
<p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形態や幅広い内容・分野の本や文章を、書店や図書館だけでなく、ウェブページなど幅広い方法で入手し、読むことができる。</li> <li>・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて活用することができる。</li> <li>・読んだ文章を評価することを通して、文章に表れた書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。</li> </ul>	
<p>伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>	<p>日本の伝統的な言語文化について主要な事柄を知り、また外国の文化の影響を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集、歌物語などについて理解する。</li> <li>・主要な古典知識（月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事）や価値観（結婚観や宗教観など）について理解する。</li> <li>・中国の文字や書物の影響のうち主要なもの（故事成語、漢詩など）について理解する。</li> </ul> <p>主要な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣い、用言の活用、助動詞・基本的な</li> </ul>	

学習指導要領		都立東大和高校 学カスタンダード
<p>関する事項</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項                      (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>		<p>助詞（「ば」など）の意味・用法、係り結び、敬語、和歌の修辞などを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。</li> </ul> <p><b>【現代文】</b>                      語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて主要な事柄を理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について主要な事柄を認識し、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを説明できる。</li> <li>・和語、漢語、外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使われ方などを理解する。</li> <li>・言語の主要な機能を理解し、それが個人や対人的な領域だけでなく、社会的な領域で実現されていることを理解する。</li> </ul> <p><b>【古典】</b>                      言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について主要な事柄を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読んだり、表記したりすることができる。</li> <li>・主要な古今異義語（あはれなり、おどろく、ののしるなど）の意味の違いを知る。</li> </ul> <p><b>【現代文】</b>                      文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて主要な事柄を知り、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文の成分を理解し、照応関係に注意して文を書くことができる。</li> <li>・難易度が中程度の文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。</li> <li>・難易度が中程度の文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち主要なもの</li> </ul>

学習指導要領	都立東大和高校 学カスタンダード
<p>ウ 漢字に関する事項                      (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>(相対、抽象、エゴイズム、グローバルなど) の意味を理解する。</p> <p>【古典】                      古語辞典や漢和辞典を活用し、基本的な古語や漢語の意味を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な古語（おぼえ、ながむ、あさまし、いかで など）80 語程度の意味を理解する。</li> <li>・基本的な漢語（豈、被、耳、況、已など）40 語程度の意味を理解する。</li> </ul> <p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字 1006 字を含む 1600 字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。</p>